

「伊勢物語の〈みやび〉とは？」

～読み取ったことをPOPで表現しよう～

1年 国語総合
古典「伊勢物語」
資料活用・KJ法・表現活動

ねらい

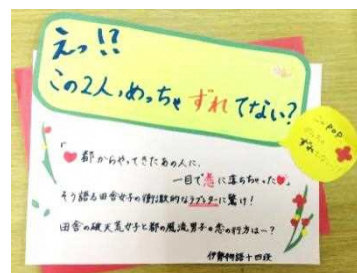
- 図書館の資料を活用しながら、「伊勢物語の〈みやび〉とは何か」を読み取り、キャッチコピーで表現することで、学習の理解を深める。
- ふせんを使って情報共有・情報整理を行うことで、グループ内で考えを深める（そのための手法を知る）。

学 習 展 開

- ① 川上弘美訳『伊勢物語』を読み、提示された六つの章段のうち好きな章段を一つ選ぶ。
- ② 選んだ章段ごとに3～4人のグループになり、「登場人物の言動」を観点に本文（古文）を読解。読解の際に、図書館資料を手がかりにする。
- ③ 個人でどの部分が〈みやび〉なのか「みやびポイント」を考え、なぜ〈みやび〉なのか理由をふせんに書き出す。
- ④ グループでふせんを見せ合いながら情報共有し、「みやびポイント」を一つに絞り込む。
- ⑤ 図書館資料を手掛かりにしながら、グループごとに選んだ章段についてのPOP（キャッチコピー、紹介文）を作る。※その後作品を評価し合う。



ふせんを使ったKJ法で情報整理



完成したPOP（後で評価し合う）

◆司書教諭と学校司書の関わり

- 司書教諭は生徒の学ぶ意欲を引き出すため①②⑤の原案を提案。あらかじめ①の六つの章段を授業担当教員と共に選んでおく。（※1参照）
- 学校司書は③④のKJ法、⑤のPOP作りの手法について提案し、司書教諭、授業担当教員と相談しながらガイダンスを実施。（※2参照）
- 学校司書は図書館資料、ワークシート、POPの見本を用意。T2として資料相談等を行う。（※3などの解説資料やPOP作りの本を用意）

★指導のポイント

- ◆ 学習意欲を引き出すため、まずは生徒に好きな物語を選ばせる。
- ◆ KJ法を使うことで、自分の考えと他の班員との考えを比べ、協議して深める（情報共有、情報整理）ことを支援する。
- ◆ キャッチコピーを考えPOPで伝えることで、楽しみながら学習テーマを理解できるようにする。

資料

「日本文学全集 03」（池澤夏樹／個人編集 川上弘美ほか／訳 河出書房新社）
「話す力・聞く力がつく発表レッスン 3」（梅澤実／著 学研教育出版）
「業平ものがたり 『伊勢物語』の謎を読み解く」（松本章男／著 平凡社）